

大安寺報

第64号



曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daianji.jp
http://www.daianji.jp

名句・名言に学ぶ

坂村真民 (詩人)

花には散ったあとの悲しみはない。
ただ一途に咲いた喜びだけが残るのだ。

季節は巡り、お盆の時期となりました。お盆はご先祖さまや亡き方々が、つかのま現世に帰って来られる期間とされ、当寺の位牌堂や境内墓地、各集落の墓地では、心づくしの法界折や供物、お花を供え、亡き方々を偲ぶ多くの人々の姿が見られます。仏さまや亡き方々にお花をお供えする意味には諸説ありますが、仏教の実徳目である六波羅蜜の忍辱(逆境を耐え忍ぶ)に通じ、自然界の厳しい環境に耐えて花が咲く姿、もしくは供えられた後も耐え忍んで咲き続ける姿から、仏さまに対する修行(忍辱)の誓いとして花を供えたとされています。私は、それに加え、花は「諸行無常」(この世界の全ての現象は刻々と移り変わって永遠不変ではない)の理を体現する象徴で

あり、その花を見ることで、見た人自身の戒めになると考えるのです。花はつぼみをふくらませ、やがてその花弁を開いて咲き、人々の目を楽しませ、さらには昆虫の役にも立ち、時が至れば散ってゆきます。そんな花自身は、「誰かに褒められたい」という欲求を持たず、とにかく花としての役割を全うするために、精一杯・一途に咲くのです。そして散った後も咲いていた時の美しい姿は人々の心に残り、花が散った後はやがて実がなり種ができ、やがては新たないのちが芽生えます。「諸行無常」の解釈を誤ると、「どうせ死ぬのであれば、自分で好きなように生きればよい」という独善的で刹那的な生き方になってしまいますが、「諸行が無常であるからこそ、自分を取り巻く存在のために、この一瞬を精一杯・一途に生きよう」という前向きな気持ちに転じることが大切です。このお盆にお迎える、もしくは共に過ごす皆さんの大切な亡き方々は、生前、どんな素晴らしい姿を見せてくれたでしょう

か? 「花びらは散っても、花は死なない」ということばがありますが、亡き方々が生きた姿が、縁ある人々の心の中に宿り続ける限り、亡き方々はその人々の心の中に生き続けるのです。

約一年半前から続いているコロナ禍の収束が見通せていませんが、このお盆は、新型コロナウイルス感染症で亡くなった一万五千人以上の方々のことをも偲んでさしあげたいものです。そのお一人お一人が生前それぞれの花を精一杯咲かせておられたことを想いつつ、コロナ禍の一日も早い収束を共に願いたいと思います。合掌(副住職)



写真：横内壽彦氏



大安寺
公式ホームページ

スマートフォン・タブレット端末のカメラ機能で読み取ってください。



大安寺
公式 facebook ページ

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禪師 本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ) 太祖：瑩山禪師

□新型コロナウイルス感染症拡大防止のための当寺の対応について

- ・屋内ではマスクを着用ください。
- ・本堂及び位牌堂へのお参りは、混雑時を避け、短時間かつ最少人数でお願いいたします。又、屋内での飲食はお控えください。
- ・以下のいずれかに該当する場合は法要への参列・参拝をお控えください。
 - 発熱(37.5度以上)、又は咳、痰、息切れ等の症状、味覚・嗅覚異常
 - ・お参りの際は必ず手指を消毒してください。
 - ※感染拡大の際は法要を無参列法要とし、行事自体を中止する場合があります。その際は、公式HP等でお知らせします。
- 【葬儀・法事について】
 - ・人数制限は設けず、席と席の間隔をあけ、換気を頻繁に行うなどの対応をします
 - ・スマホなどでネット中継ができるようWi-Fiを整備しましたのでご利用ください。

【迎え火・送り火萬灯会への献灯について】

- 献灯料：紙製カップソーソク・五百円(迎え火用・送り火用それぞれ)
- ※カップソーソクには、亡き方へのメッセージや、「〇〇家先祖代々菩提供養」「(戒名)霊位菩提供養」等とお書きください。また、施主名もお書きください。
- ※カップソーソクは、迎え火(十三日)・送り火(十六日)両日とも、午後五時までは事務室に、午後五時以降は山門付近の受付に(荒天時は本堂に)お持ちください。
- 頒布：八月一日より事務所にて行います。

行事予告

「キャンドルライト寺ヨガ」

キャンドルの灯が揺れる中、ヨガ・坐禅を体験できる行事を開催します。日常を離れ、ご自身の身体と心に向き合う静かな時間を過ごしてみませんか?

■日時：令和三年九月二十四日(金)

午後七時～九時
(午後六時四十五分受付開始)

- 場所：大安寺本堂
- 定員：二十名(先着順)
- 講師：中島敬子・長岡 俊成
- 参加費：五百円(キャンドル代含む)／当日受付時に支払い)
- 持ち物：ヨガマット(バスタオル可)／動きやすい服装で／マスク着用
- 申し込み：左の二次元コードをスマートフォンで読み取り、申し込みフォームに必要事項を入力の上ご送信ください。
- 新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては中止の可能性がります。



各種講座のご案内(令和三年八・九月)

※新型コロナウイルス感染症拡大の場合は中止する場合があります。なお、当面の間、茶話会の開催は見合わせます。

◆「月例写経・写仏会」(予約不要)

日時：八月二十二日(日)、九月二十六日(日)午後一時～三時
内容：ミニ法話・写経・写仏
場所：中広間 参加費：三百円 備考：椅子席

◆「暁天坐禅会」(予約不要)

日時：八月二十二日(日)、九月五日(日)、十九日(日)午前七時～八時 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合
内容：禅語紹介・坐禅・朝のおつとめ(法要)

場所：本堂 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能 服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)

行事カレンダー(令和三年八・九月)

- 八月十三日(金) 「迎え火萬灯会」午後六時半～午後八時 ※荒天時は本堂
- 八月十六日(月) 「盂蘭盆会施食会法要」(本堂)午前十一時～ ※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂
- 九月二十三日(木・秋分の日) 「送り火萬灯会」午後六時半～午後八時 ※荒天時は本堂
- 九月二十三日(木・秋分の日) 「秋季彼岸会法要」(本堂)午前十一時～ ※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂

編集後記

ワクチン接種の是非、東京オリンピック開催の是非など、意見の相違による多くの分断がこの日本でも生まれています。お釈迦さまはなにものにも偏らない「中道」の教えを説き、実践されました。判断が困難な状況である時こそ、冷静に物事を見極めて実践する、中道の生き方が大切であると実感しています。(副住職)

次号のご案内

令和三年九月中旬に発行予定です。